

令和6年度 第3回伊賀市民美術展覧会運営委員会概要

■日 時／ 令和7年3月26日（水）午後6時～7時

■場 所／ 伊賀市役所 本庁4階405会議室

■出席者／ 委員

[絵画部門]上田慎二委員、津田義夫委員（副委員長）

[彫塑工芸部門] 小島憲二委員、恵村正大委員

[写真部門] 牧戸勲委員（委員長）、縄手稔委員

[書部門] 稲森須美子委員、中野佐恵子委員

事務局

[(公財)文化都市協会]服部参事、杉本主幹、木下

[伊賀市文化振興課]西村課長、笥、岸

1 あいさつ

2 報告事項

第20回市展「いが」審査結果等

【資料1】応募作品点数・応募者数一覧表（年度別）

【資料2】入賞者一覧表

一般応募合計131点、うち高校生出品26点、無鑑査等を含む展示点数合計175点

昨年度との比較 一般応募合計△19点、高校生作品△27点 展示点数△10点

今年度の入賞者は、第20回記念賞が新設され、

絵画部門12点、彫塑工芸部門11点、写真部門12点、書部門12点の合計47点

（質疑応答）

・高校生の出品が減少した理由は何か。

→明確な理由はわからないが、部員の減少や部がサークルに規模縮小されたことが関係していると思われる。

・高校生出品の減少への対策はあるか。

→アプローチの仕方を変えるなど検討していく。

3 協議事項

(1) 第20回市展「いが」振り返りについて

(2) 第21回市展「いが」について

【資料3】第20回市展いが来場者数

【資料4】アンケート集約

会期中 5 日間天候に恵まれ来場者合計 1,007 人（前年度比△22 人）

アンケートからは、

開催時間や開催時期、若い世代へのアプローチ等々の意見をいただいた。

（振り返り）

・出品表の天地を貼るのは本人かスタッフか、搬入時混乱しないよう共通認識が必要。

→今年度より本人確認のもとスタッフが添付するよう変更した。搬入時に注意する。

・審査時は天地あったが、展示の際に天地が逆さまになっていた作品があった。展示は点数も多く大変であるが、裏面の出品票で必ず天地を確認するよう注意する。

・新聞によっては記事が取り上げられていなかったようだが、どのように広報しているか。

→市内新聞各社へ報道発表を行っている。記事を取り上げていただけるかは新聞社による。

・彫塑工芸の展示室について、エアコンの音が気になった。乾燥も気になると意見があったので、加湿器等で対策をお願いしたい。

・絵画作品で額縁が金網で曲がってしまっているものがあった。どのタイミングで曲がったかは分からないが、苦情に発展することもあるので注意が必要。

→絵画部門は原則額装としている。搬入時に注意が必要。

・ワークショップでは普段できないことが出来て良かった。アンケートにもあるように出品が増えるように、開催日や年齢制限を変えていけないか、今後検討必要。

・事前申込について、今年度初の試みであるが、作品搬入時に作品数が事前にわかっており良かった。

・写真部門では事前申込時にタイトルが決まっていない場合があるため、今年度同様、タイトルについては最終搬入時に確定する形を取りたい。

・書作品について、横の作品が増えた場合の展示スペース確保が課題。

（3）第 21 回市展「いが」運営委員の推薦について

【資料 5】運営委員推薦書

【別紙 1】歴代運営委員・審査員名簿

【別紙 2】伊賀市民美術展覧会運営委員会条例

令和 7 年度の運営委員の選出にあたり、現運営委員よりご推薦賜りたい。

締切を 4 月 11 日とする。

4 その他

令和 7 年度第 1 回の運営委員会については、5 月末頃開催予定。推薦書確認後、日程調整を行う。

【終了】